

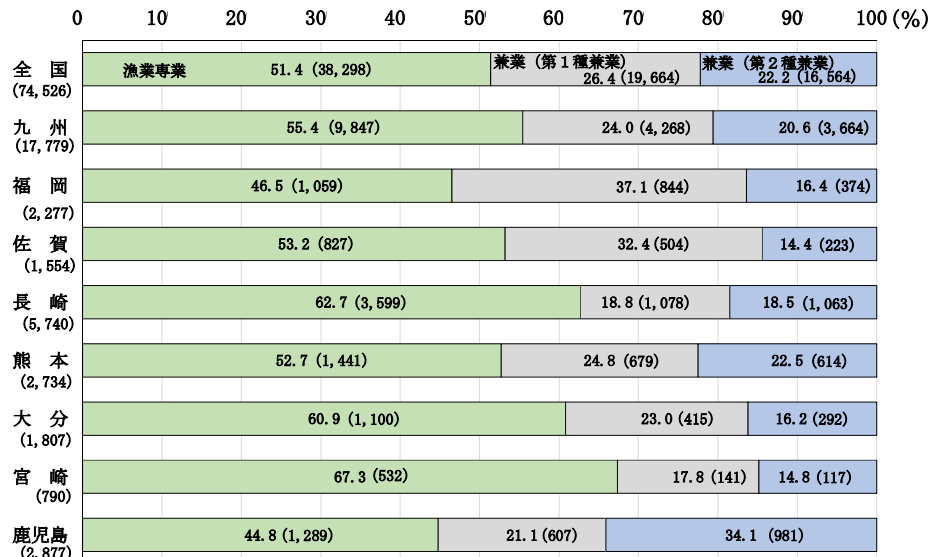
II 個人経営体

1 自家漁業の専兼業別経営体割合

◎ 九州の漁業専業経営体の割合は55%で、全国に比べ4ポイント高くなっている

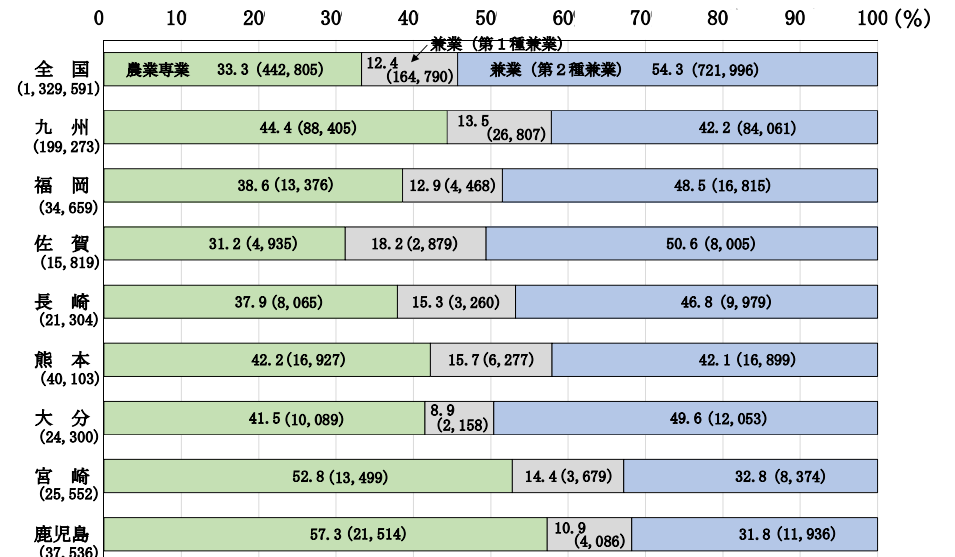
- 漁業専業の経営体の割合は、長崎、大分、宮崎で6割を超えており、全国と比較しても高い割合となっている。また、農業と比較しても専業割合は高くなっているが、鹿児島は農業の専業割合が高くなっている。〔図14、参考2〕
- 営んだ兼業種類別経営体数は農業との兼業が多く、佐賀、熊本、鹿児島で1割を上回っている。〔図15〕

図14 専兼業別漁業経営体の割合（全国・九州及び九州各県）（平成30年）



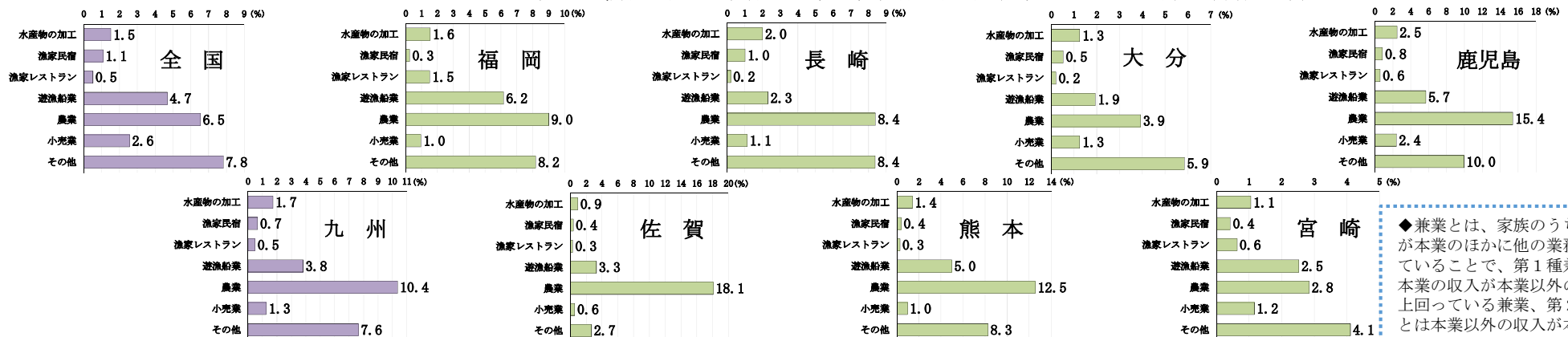
注：（ ）は経営体数です。

【参考2】専兼業別農家の割合（全国・九州及び九州各県）（平成27年）



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」 注：（ ）は農家数です。

図15 営んだ兼業のうち自営業の種類別経営体の割合（全国及び九州各県）（平成30年）



◆兼業とは、家族のうちだれかが本業のほかにも他の業務を兼業していることで、第1種兼業とは、本業の収入が本業以外の収入を上回っている兼業、第2種兼業とは本業以外の収入が本業の収入を上回っている兼業です。